神鋼は今こそ内部留保を労働者に還元せよ！

展望
NO. 174
発行
日本共産党
神戸製鋼委員会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地3丁目4-20
TEL&FAX
078-801-3910
ホームページ
http://www.jcp-shinko.jp

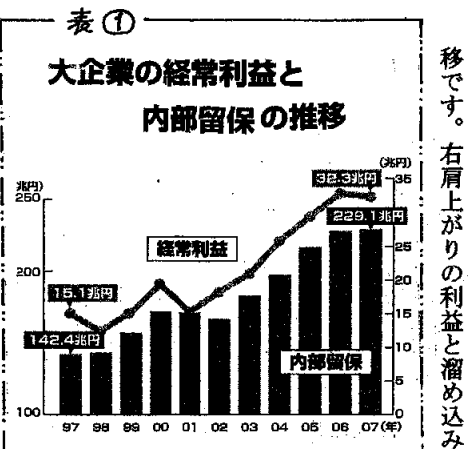
働く者の共闘を築く
しんぶん赤旗
日刊：月2,900円
日曜版：月900円

労働者の血を吸って肥え太る大企業！

今年の春闘交渉で会社は「あらゆる手段を講じて、利益とキャシュフローの最大化を図っていく必要がある」「従来と同様、固定的、構造的なコスト増を来たす施策については国際競争力の維持・強化の観点から実施できない」といい、労組はこれに応えて、「今次春闘要求においては、賃金改善を要求する状況にない」とベースアップの要求を断念しています。

表①は「大企業の経常利益と内部留保の推移です。右肩上がりの利益と溜め込みです。

表①



財務省「法人企業統計調査」、内閣府「国民経済計算」から作成。銀行・保険を除く資本金10億円以上の大企業

先進7ケ国の中の日本
GDP、雇用者報酬伸び率最低！

表②はG7（先進7ケ国）のGDP（国内総生産）と雇用者報酬の伸び率の推移表です。

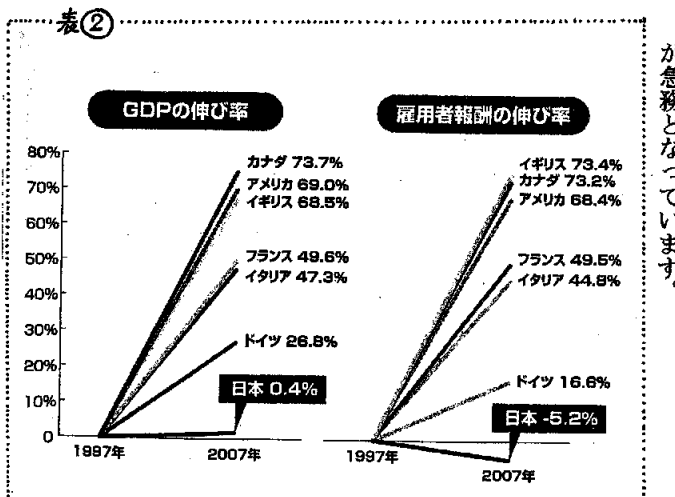
日本のGDPの伸び率はわずか0・4％で雇用者報酬の伸び率も日本だけがマイナス5・2％。大企業は大儲けしているのに、国民の所得は落ち込み、経済全体も「成長」どころか、日本は「G7」で最も成長力のない脆弱な経済となったのです。

イギリスのフィナンシャル・タイムスは「企業が過剰な内部留保」を蓄積したことを、日本経済の「基本的な構造問題」の一つと指摘し、「内需主導の成長のために最も重要な条件は、企業蓄積の大規模な削減」であると書いています。（一月一三日付）。

国民がつくった富を大企業のみが独り占めにする。日本経済をまともにしようと思ったらこのシステムを改める必要があります。

会社の理屈を打ち破って、内部留保を使ってベースアップ・非正規社員の正社員化・下請け単価の値上げなどで国民の懐を暖めることが急務となっています。

表②



IMF、OECDのデータから作成。日本のGDPは「平成20年国民経済計算確報」の数値

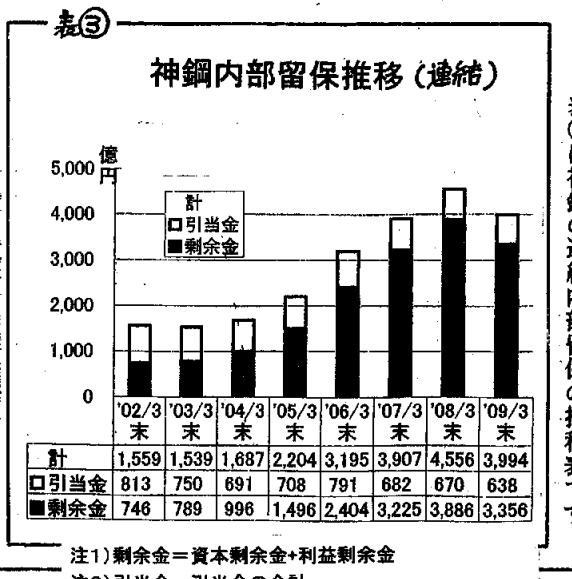
神鋼は、内部留保の1.2%で一万円の値上げ可能！

表③は神鋼の連結内部留保の推移表です。

日本全体と同一歩調で大幅な溜め込みをしています。この連結会社の従業員は09年3月末で四〇，八七六人（臨時の従業員七，三五〇人を含む）です。全員一万円の賃上げに要する金額は年間で四九億円です。

内部留保のわずかI・2％を取り崩すだけで実現可能です。

表③



	'02/3末	'03/3末	'04/3末	'05/3末	'06/3末	'07/3末	'08/3末	'09/3末
計	1,559	1,539	1,687	2,204	3,195	3,907	4,556	3,994
□引当金	813	750	691	708	791	682	670	638
■剰余金	746	789	996	1,496	2,404	3,225	3,886	3,356

注1）剰余金＝資本剰余金+利益剰余金
注2）引当金＝引当金の合計
－（減価償却引当金＋従業員賞与引当金）

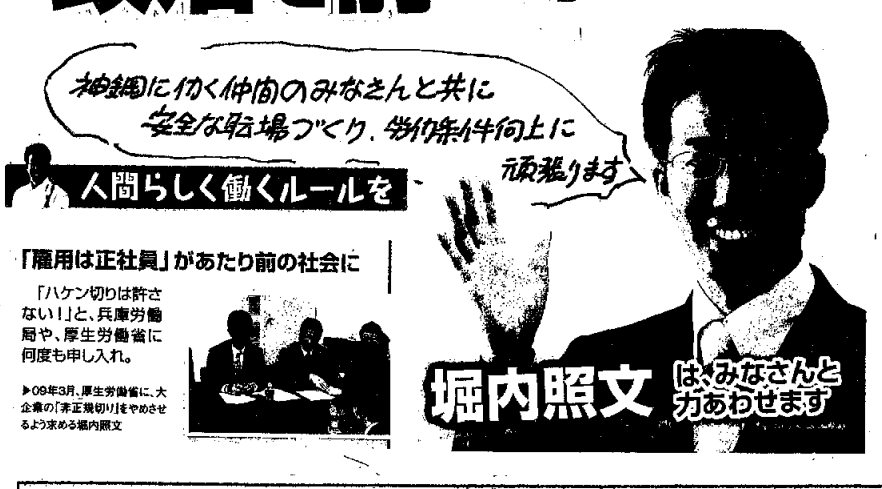
職場のつぶやき

★幹事長、総理はスネをかばいあい
★検察とたたかうほどの自なのか
★何故放免鳩山疑惑へホリエモン
★何兆円内部留保も賃上げせめて
★派遣切り追いうちかけるホームレス
★新年会酔っぱらって真意聞き
★保険料払えぬ人へ10割負担
★沖縄の苦しみ逆なで抑止力

なんとしても一時金1ヶ月分の満額獲得を

生活のためには満額獲得が必須です。交渉に注目して職場から声を挙げていきましょう

日本共産党の若い力で政治を前へ！



60才以上再雇用者の処遇改善を

私たちは前回I月7日に配布した展望NOI73号で「再雇用者の待遇改善」を要求しました。この問題で1月29日の第34回常議員会で神戸支部のS中央委員は発言しています。「現行の熟練社員再雇用制度の処遇は、定年前の半分程度かそれ以下、雇用期間は一年更新となっているが、現在の公的給付を含めた再雇用後の収入ベースがさらに下がるようでは、働く意欲を削ぐと共に生活の不安をもたらすと考える。また、一部の交代勤務職場では六五歳まで働かざるを得ない状況に対し、体力面・健康面での不安を訴える声も出されており、働き方や仕事の選択肢の拡充など誰もが六五歳まで安心して活力を持って働ける仕組みづくりを追求していく必要があると考えている。」全くこの発言のとおりです。

組合の要求に対して会社は競争力の維持強化という観点から牽制球を投げてきています。

職場の要求は本当に切実です。それだけにこの要求をバックにした強力な交渉でこの壁は突破できます。私たち共産党も全面的に協力して闘う決意です。

雇用守れ・賃金上げよ
神鋼社長へ要望書提出

国民春闘兵庫県共闘委員会・兵庫県労働組合総連合は2月26日、神鋼佐藤廣士社長に次の要望書を提出しました。

すべての労働者の雇用確保と賃金引上げ等を求める要望書

要望事項

1. 正規・期間・契約・派遣・請負・パートなど雇用形態を問わず、企業内で働くすべての労働者の雇用を守ること。また、労働条件は均等待遇で正社員と同等とすること。
2. 派遣労働は一時的・臨時的雇用であることから、一年以上（最長三年）雇用している場合は、正社員として採用すること。
3. 派遣労働継続のため行われている、違法なクーリング期間を設けるなどの脱法行為を止めること。
4. 直接雇用・間接雇用を問わず、事業所内で働く全ての労働者の時間給を最低千四百円以上とすること。
5. 協力会社の下請け単価は、労働者に最低千四百円以上の時間給を支払い、年次有給休暇の付与、時間外・休日・深夜割増賃金の支給及び社会保険等に加入できる単価を保障すること。
6. 六十歳以上の雇用延長者の業務軽易化と労働条件改善を推進すること。
7. 労働基準法、労働安全衛生法、労働者派遣法、労働組合法など諸法規を遵守すること、